

松
本

FOODEX JAPAN 「ママの愛グランプリ」

信栄食品が最高位に



「ママといっしょになかよし餃子」を持つ丸山さん(左)と塚原さん

キョーザの製造、販売などの新栄食品(神倉藤勇社長、松本市並柳4)は、アジア最大級の食品、飲料専門展示会「FOODEX JAPAN2015」の「FOODEX美食女子」ママの愛グランプリで、最高位のグランプリを受賞した。受賞したキョーザは6日から、全国のスーパーや量販店、同社工場横の直営店「きょうざのみせ さくら」で販売している。(八代啓子)

「ママといっしょになかよし餃子(24)、丸山有紀さん(24)の若手2人を中心としたなかよし餃子(キョーザ)とあか・き・みどりのなかまたち」。松本大学の健康栄養学科で勉強した塚原絵里さ

は使っていない。国産のチルド豚、小麦粉を使つ、豆腐を入れるなど、素材や安心安全にこだわった。調味料を抑え、野菜のうま味が分かる、今までにないタイプのキョーザに仕上げた。

昨年、「FOODEX美食女子グランプリ」で、餃子メーカーがグランプリを取ったことから、「自分たちも挑戦しよう」と一念発起。30組以上の母子に食べてもらつてモニターリング。ハウレンソウの苦みを消すために、1度ゆでて水で締めるなど工夫、社内でも10回ほど調整を繰り返して完成させた。

野菜をたっぷり使ったヘルシーで優しい味わい、温めるだけの利便性が高評価を得、保存料などの添加物を使っていないことも、安心して子どもに食べさせられるという声が集まったという。

今後、子ども、高齢者をターゲットにした商品開発に力を入れていく。塚原さん、丸山さんは「みんなで協力、努力し知恵を出し合った。評価されてうれしいし、自信にもなった」と話す。

10個入り280円(焼き)。冷凍は20個500円。 ☎26・6261

同グランプリは、食に精通した女性が売れ筋を選ぶ。今年はお小さな子どもを持つ母親が選ぶ「ママの愛グラン